

医療生協わたり病院 医学生通信

第4号

毎月1回 発行

〒960-8141 福島県福島市渡利字中江町34
医療生協わたり病院 医局事務課
tel.024-521-2056 Email : rinken@fmc.u-coop.or.jp



「医学生へ伝えたいこと」

医療生協わたり病院 研修医 山内健士朗

医療生協わたり病院に山内健四朗医師が入職して、3ヶ月が経ちました。これまでの当院の研修と、医学生のみなさんへメッセージをうかがいました。

医学生の皆さんこんにちは。福島県のわたり病院の研修医1年目山内健士朗です。3年目以降に僻地医療に従事する予定で、まずはこの研修2年間でプライマリケア全般の習得を目標としています。



医学生(実習生)に電子カルテで患者さんの説明をする山内研修医

早いもので入職してから3ヶ月が経ちました。わたり病院では最初の6カ月は総合内科をローテーションしながら、腹部エコー、救急初期対応、挿管トレーニング、外来、当直などを並行して行っています。研修を始めてまず印象に残っていることは、チーム医療の重要性です。大学病院のポリクリの際は各医療スタッフとかかわる機会はありませんでしたが、わたり病院のような中小規模の病院ではスタッフ間の連携が非常に大事になってきます。一人の患者さんを診ていく上で、各医療スタッフの専門分野における知識、技術は非常に高く、医師以上である



ことは珍しくありません。特に研修医のうちには各スタッフの知識を学ぶことは大いに力になると思います。なかなか学生のうちは指導医にばかり目がいきってしまうと思いますが、各実習を通して病院内にどんな職種の方がいるのか勉強しておく、研修医になってからより働きやすくなると思います。時間のあるうちに病院見学に行くのも非常に勉強になるはずです。では、皆さんと病棟でお会いできるのを楽しみにしております。今後も皆さんのご健闘を祈っています。

山内研修医をささえる看護師3人のメンター

山内健士朗医師を現場でささえる3人のメンターのみなさんにうかがいました。

「昨日から学び、今日を生き、明日へ期待しよう」

南3階病棟 安齋貴子さん

今回、初期研修医がわたり病院に来る！という事で、メンターお願いね。と言われたけど、メンターって何？何をすればいいの？看護師が教育担当？と「？」ばかりでした。お姉さんのようにお母さんのように…と言われ、ますます「？」でした。しかし、病棟でのインサイトや採血の手技練習を一緒にしましょう！と声をかけ、病棟スタッフにも協力を仰ぎ、日勤後にやってみました。結果、手技の練習はもちろんスタッフとのコミュニケーションの場ともなり、結果良かった！そこで…メンターってカッコいい横文字にとらわれず、私の持ち味を生かし、コミュニケーションのかけ橋に、困った時にすぐに声のかけられる存在になればいいんじゃないのかな、と思いました。山内先生、できなくて当たり前です！日々の仕事に対して高いモチベーションを持ち続けるのは、時として大変です。「昨日から学び、今日を生き、明日へ期待しよう」Albert Einstein そして…たまにの息抜き。これがイチバン大切かも(笑)



「山内先生のストレスを和らげたい」

南4階病棟 阿久津知夏子さん
八木綾子さん

山内先生の初期研修成功に向けて、医師といっしょになって他職種もがんばっています。そのためにメンターが今回導入されました。今は、先生の相談役というよりは、主に看護技術やオーダーの出し方についてのアドバイスをしています。常に私たちは病棟にすることができないため、そこは、病棟のスタッフ全員でカバーしあいたいと思っています。病棟で顔を合わせた時には、こちらから声をかけるようにしています。きっと山内先生は、研修医として、焦りやプレッシャー、不安などがあると思います。これまでの当院の研修医の進み方や研修状況を伝え、少しでも先生のストレスを軽減できるよう関わっていきたいと思います。わたり病院には学べるチャンスがたくさんあるので、頑張してほしいと思います。



八木さん(左)と阿久津さん